学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究「高校世界史」　（山川出版社）						
副教材等	詳説世界史図録（第５版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本科目では社会的事象の歴史的な見方・考え方について知識を深めます。さらに授業を介して世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切に読みとる力の向上を目指します。
・授業での活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会のなかで歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明、議論することができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、以下のことを学習の到達目標とする。
⑴地理的条件や日本史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に着ける。
⑵意義や特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して考察し、歴史的な課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や説明し議論する力を養う。
⑶よりよい社会の実現を視野に、課題を探求しようとする態度を養うとともに、日本の歴史に対する認識を深めるだけでなく、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的条件や日本史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に着けている。	意義や特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史的な課題を把握したうえで、解決を視野に入れて構想したことをまとめ、説明でき、表現している。	よりよい社会の実現を視野に、歴史に見られる課題を主体的に追求し、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部「諸地域への歴史的特質の形成」	・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界 ・南アジア世界と東南アジア世界の展開	a:諸地域の歴史に関する資料を活用し、オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 b:古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較する、関連づけるなどをして、読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕、牧畜、の意義など多面的・多角的に考察し、表現している。 c:生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料を活用し、課題を追及したり、解決したりする活動を通じて、諸地域の歴史的特質を読み解き，課題を見つけ、主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	単元シート プリント (ノート) 定期考査	単元シート プリント (ノート) 授業観察

2学期	第Ⅰ部、第Ⅱ部「諸地域の交流、再編」	・西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の変容と展開	a:西アジアと地中海周辺国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること。 b: ユーラシア、地中海周辺、西アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較する、関連づけるなどをして、読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕、牧畜、の意義など多面的・多角的に考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや、諸地域の歴史に関わる事象に着目し、諸地域の歴史的特質を読み解き，課題を見つけ、主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	単元シート プリント(ノート) 定期考査	単元シート プリント(ノート) 授業観察
3学期	第Ⅱ部「諸地域の交流・再編」	・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の動向	a:諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解し、宗教改革とヨーロッパの抗争、三角貿易、科学革命と啓蒙思想などを基に主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解すること。 b:諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象、アジア、ヨーロッパの動向などに着目し、諸資料を比較する、関連づけるなどをして、読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕、牧畜、の意義など多面的・多角的に考察し、表現している。 c:交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や化学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、課題を見つけ、主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	単元シート プリント(ノート) 定期考査	単元シート プリント(ノート) 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度